

3.6 日本のカラーテレビジョン（CBS方式）の研究

試作テレビ	型名	Tube-番号	使用回路
1952（昭和27）年	6AC7	-62	映像増幅, カラーフィルター駆動用モーター制御
	6V6	-58	映像増幅, 垂直偏向
	6SN7	-63	同期分離, 垂直偏向, 水平偏向, カラーフィルター駆動用モーター制御, 音声増幅
	6CD6	-321	水平偏向 (379頁)
	1B3	-66	高圧整流
	6W4	-72	ダンパー
	6F6	-98	音声出力 (120頁)
	5Z3	-46	電源
	270KB4	—	ブラウン管

Tube- 98:

6F6-GT



サンプル・メーカー	新日本電気 (NEC)	外形番号	GT29-3A
使用時期	1952(S27) ~1956(S31)	初期使用機種	早川電機工業(TV3-14T)
使用回路	MTV,CTV(下記)	Ef [V] × If [mA]	6.3×700

MTV:高圧発振,音声出力,垂直出力

CTV:CBS方式音声出力

特徴：低周波電力増幅用傍熱型五極管、ピークプレート電圧=規格無,プレート損失=11W,出力=4.8W,Gm=2,250 μ mho、ウォームアップタイム=規格無

経緯：UZ-42同等、(TUNG-SOL,1943)、(NECニュース(第24号),1953)、(マツダ真空管ハンドブック,1953)



一部拡大



通電状態

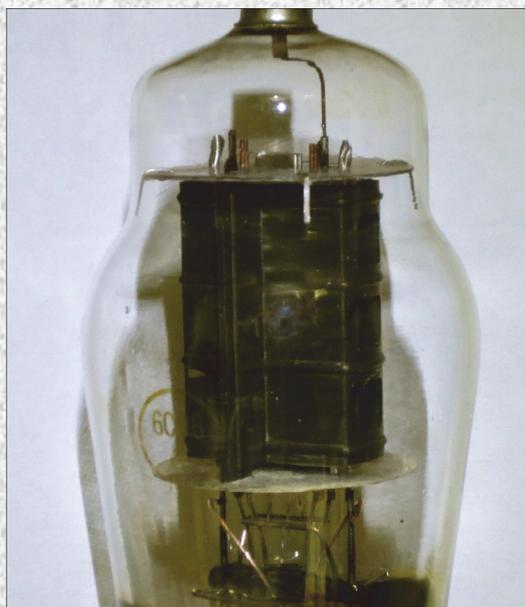
Tube- 321:

6CD6-G

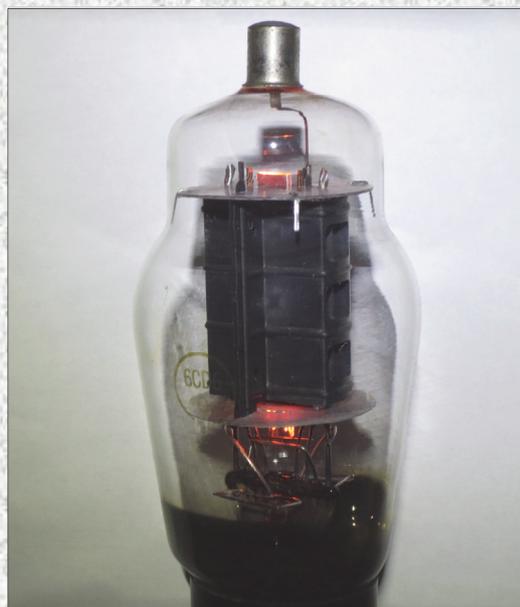
サンプル・メーカー	USA(CBS)	外形番号	ST16-5(GE)
使用時期	1958(S33)頃	初期使用機種	中央無線 (21Q-3R)
使用回路	MTV:水平出力	E_f [V] × I_f [mA]	6.3×2.5A

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=15W (改良型、6CD6GA は 20W)、ピークプレート電圧
 =(正)6,000V,(負)1,500V, $G_m=7,700 \mu mho$

経緯：この真空管は、中央無線と東京芝浦電気の 21～27 インチテレビの 4 機種にのみ使用されている。
 (TUNG-SOL TENTATIVE DATA,1950)



一部拡大



通電状態